

特集

doki doki

(ライブレポート・今月の顔と顔)

新連載 フリムン徳さんの「アメリカ便り」
シマの話題 (ユキダルマがやってきた他)
行政懇談会レポート

奄振基金からのお知らせ・家庭リサイクル
連載 シマの入り江と潮だまり (花良治編)
喜界歌壇・戸籍の窓・編集後記
島に咲く花

こうほう

きかい!!!



No. 500

2

平成21年
(2009)



doki ♥ doki

してるかい!!!



表紙説明

喜界島の宣伝大使ともいえる doki doki のふたり。
昨年の年も押し迫った時に行われたライブは会場一体
となった、熱いステージであった。観客はもちろん、彼
らにとっても忘れられない夜となったであろう。
(関連記事は2ページから。No.500 記念の今月号は doki
doki 特集号だ!)

「この地球（ほし）に生まれて」1st. アルバム 発売記念全国ライヴツアーレポート

at 自然休養村管理センター

全国ツアーでひとまわりたくましくなってきた姿を

地元喜界島のファンに貫禄のステージで披露



やさしい場所には花がある やさしい場所には歌がある
愛をくちずきんで心にも花を咲かそうよ
「ハナウタ」の歌詞より

ひたむきに歌をうたう dokidoki のふたり（舞台セットはファンたちの手作り）

昨年7月、ファーストアルバム『この地球（ほし）に生まれて』を発売し、全国縦断ツアーを続けていた中里出身の土岐宏大（どきこうだい）、兄、通称NIE）と土岐和貴（どきかずき、弟、通称ZIN）の兄弟デュオ「ドキドキ」の二人が、ツアー最終の地として喜界島に凱旋（がいせん）して12月28日、約150人の観客を集めて自然休養村管理センターでスペシャルライブを行った。

今回のツアーは、彼らの拠点となる「ファンキーステーション・サバニ」（湾、栄忠則さん経営）を皮切りに、九州や関西の各地、名古屋、東京から奄美の各島々をまわり、まさしく列島縦断ツアーと呼べるもの。

ツアーの総仕上げとなる今回のライブは「シマ時間」とはならず、18時30分の会場にもかかわらず、18時過ぎには長蛇の列ができるほどであった。

開演時間19時ちょうどに始まったライブの一曲目は、ニューアルバムに収められている『島



ジャンケン大会の賞品はサイン入りポスターで会場の熱気はピークを迎えた。その勢いのまま、最後の曲となる記念すべきデビュー曲『チバリヨ』の前奏が流れると、一転して会場は水を打ったように静まり返り、感動のうちに予定曲を終えた。

しかし、最後の歌が終わった瞬間にわ



ぬ風』。つづいてCD未収録の『デアイユメカナウ』のあとにNIEがマイクを握り、彼らの近況報告などした。3曲目の『やっど会えたね』から徐々にヒートアップし、二人の動きが激しくなっていくにつれ、観客のボルテージも上がっていく。

途中、ドキドキの二人からのプレゼントをかけてのジャンケン大会、ZINによるダンスなどを

き上がる「アンコール」に、二人は舞台袖に引つ込んだ瞬間に、再びステージ中央に戻る。ライブでは毎回の「お約束」だ。

アンコールでは彼らの地元である中里の飛行場に咲く花を歌った『特攻花』を、哀愁を帯びたブルースハープを効果的に交えながらシットリと歌いあげ、最後の最後には、現在テレビCMにも使用されている『ハナウタ』で締め、2時間に及ぶ感動的なライブは幕を閉じた。

ライブ終了後には、二人は会場出口で観客たちと笑顔で握手を交わし、会場で深まった絆がさらに強まったようであった。

鹿児島県曾於市から友人と駆け付けたという下村京子さんは「いままで何十回とライブをみますが、二人の表情は今ままで最高だった。観客の盛り上がりも他よりよかった」と話した。

家路についた観客たちは、それぞれ柔らかい笑顔にあふれていた。それは冒頭の『ハナウタ』の歌詞にあるように、会場で咲いたやさしい花が、会場にいた全員の心にも咲いた証しなのだろう。



二人がコツコツと取り組んできた学校訪問ライブの紹介コーナーも設置

その後NIEは親類をたよって三重県で宅配便の会社で正社員として働くが、ZINの高校卒業を待つて上京するつもりで、曲作りを目的に島へ舞い戻った。そこで曲作りの参考のために加入した「喜界島うるまエイサー」で、二人がプロを具体的に目指すきっかけとなる栄忠則さんとの出会いが待っていた。

『シマでハナの出会』

栄さんは「シマにも若者が染しめて情報を発信していく基地が必要」と考え、長年勤務した生和糖業を辞め、ライブハウス『ファンキーステーション・サバニ』の立ち上げ準備をしている時だった。それを聞いた二人は「手伝わせてください」と栄さんに訴え出る。

二人はライブハウスの内装工事を手伝い、オープン後はスタジオとして働きながらスタジオで歌い、曲作りとギターの練習に励んだ。以前からエイサーの活動を通してイベントなどを手掛け、島のミュージシャンたちと親交のあった栄さんからも「得るものは大きかった」と二人は口を揃える。そんな二人を栄さんは「当時は歌もギターもプロレベルには遠かったが、歌には心に刺さるものがあった。このまま育てば全国に届くのでは」と感じたという。



現在：石垣とトクン屋根とツワブキの花
をバックに（実家近くの小径にて）

「夢の途中」
多くの有名ミュージシャンのプロデュースを手掛ける川越さんは「彼らの魅力は素直な声と性格です。世の中に素直な性格

『夢の途中』

そんななか、ついに「人前で歌える歌」が生まれる。『チバリヨ』である。この歌は、祖父・豊二郎さん（平成15年没）の闘病生活を応援しながらも、孫である彼らを気にかけて励ましていた祖父を想った、彼ら自身への応援ソングでもある。

そんなある時、歌手で俳優の時任三郎さんのライブがサバニであり、二人はそのライブの途中にステージに呼ばれ、一曲披露する。その時、ドラマーとして参加していた川越健二さんと出会う。川越さんに認められた二人は、東京のスタジオでのレコーディングに挑戦することとなる。

の方々には沢山いますが、見た目にも（初対面でも）素直さを感じられる人というのは、この時代あまりいないと思います」と評価する一方、プロとして成功するためには「音楽家としての意識と、それに伴う日々の生活の向上。この一点では」と指摘する。

レコーディングでは、初めての本格的スタジオや著名なスタジオミュージシャンなどの「プロの仕事」に触れ、川越さんにはミュージシャンとしての基本を叩き込まれた。以前も自宅で手作りのCD作成をしたことはあったが、全く別次元の「本物」に触れたことにより未熟さを痛感したが、「やらなければ」という気持ちを新たにしました。

そして待望のデビューシングル『チバリヨ』が完成する。デビューシングル発売後も、各地でのイベント参加や学校訪問ミニライブなど地道な活動を

したように、その中の収録曲『ハナウタ』がテレビCMで一日何回もお茶の間に流れている（鹿児島ローカル）。この『ハナウタ』は、全国に約400店を展開するスーパーマーケット「西友」の全店舗でも店内で流れている。その立役者になったのは、父・紀久雄さん。西友グループの役員と共通の知人を通して実現した。紀久雄さんは、幼いわが子たちと離別した負い目からか、音信不通であったという。しかし、二人が関西でもライブをするようになってから、連絡を取るようになり、今では二人を物心両面で支えているという。歌が途切れていた親子の絆を、再び結んでくれたのだ。

『シマから全国へ』

多くの周囲の人たちに支えられながら、夢をつかむため歩き続ける二人。厳しいプロの第一線で活躍する川越さんは二人の「可能性」を高く評価するが、その道は険しい。栄さんも「まだまだ色んなことを吸収しなければ」と話す。今、さらなる大きな舞台へ羽ばたこうとする二人は、曲作りと練習に明け暮れ、全国を飛び回っている。それでも心の軸足はシマに置いている。東京ではなく地方からの勝負を選んだのだ。昨年、

シマの盆踊りシーズンでは全会場で演奏した。そしてシマに対する思いは母に対する思いにつながる。「ただただ感謝。この年になって母の苦労が分かる。今もくじけず頑張れるのは、一生懸命働いて育ててくれた母が元気でいてくれるから」と二人は話す。さらに「可愛い」祖母・よきさんと二人の妹、そして父。家族への感謝とシマへの感謝を胸に「いつか恩返しを」と二人は歌い続ける。

表紙にドキドキのサインが入った広報きかい（今月号）を、3人の方にプレゼント!!
ハガキに住所・氏名・年齢・電話番号・「サインに書いて欲しい名前」を書いて喜界町役場企画課、植村までお送りください。（送り先は、〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾一七四二）



ファーストアルバム

『この地球にうまれて』

絶賛発売中!! (税込：2,100円)

「広報きかい」版 フリムン徳さんの アメリカ便り Vol.1



小野津出身の「フリムン徳さん」こと、上園田徳市さん（65才、米カリフォルニア州ブラッドレー在住）は、自らの手による60編以上のエッセイが地元の雑誌や新聞に掲載されており、5年前には『フリムン徳さんの波瀾万丈記』というエッセー集も出版し、「アメリカから喜界島を有名にしたい」と活躍を続けています。今月号から、そんな徳さんのエッセーを連載します。飾り気のないユーモアにあふれ「キバテイ、ナデー」「コーホー」「ニッシイカンバ。カキブサンネン、カキユンドー」と意気込む徳さんの「アメリカ便り」をご堪能ください。

『ハゲー、フォーラサ!!』

「ハゲーハゲー、フォーラサ、フォーラサーヌーカイ!」
「ユナナカニ、ハッシイ、フォーラサントウガ アスカイ!」

私の人生で一番好きだった、オメトおばあさんと、同じほど好きな古里、それは喜界島。

太平洋を挟んで遠く離れ、32年以上住んでいるアメリカで、私の心の中にいつも大きく浮かんでいる古里、喜界島。

その愛する喜界島の「広報きかい」に私の「フリムン徳さんアメリカ便り」が載ることになった。島でファンシーと味噌で育ち、アメリカでは肉とビールで育った、この重たいフリムン徳さんが、薄い紙に印刷された「広報きかい」に載る。イミミチャ具合じゃ、キャーシィシロウカ。ワンナー美代ねえがイユンネン「ウヤフジヌウカギドー、ウヤフジヌ ウカギドー、トットウガナシ、ウヤフジガナシ!!」

50以上の職業を変えながら、喜界島、大阪、南米パラグアイ、アメリカを65年間、転々とした私が片時も忘れないのは古里、喜界島。そしてどんな別嬪さんよりもハナサヌ「島ユミタ」。英語の国アメリカで、私と坂嶺出身の嫁はんは「島ユミタ」で生活している。32年前、アメリカに来て英語ができないから、見よう見まねで大工を覚え、身体の大きなアメリカ人の大工に負けてたまるかと、喜界島根性で大工仕事に26年間頑張った。

ところが、大工仕事が終わってから毎晩、晩酌を26年間続けたのが命取りだった。

島の焼酎がないから、晩酌にアメリカのビールを飲み続けたのであります。仕事にも人一倍熱心でしたが、酒、ビールにも人一倍熱心でした。こうゆうのをフリムンというのでしょうか。とうとう59歳の時に、高血圧(213)、関節炎、痛風、心臓肥大で倒れて、身体障害者になった。有り金も全部使い果たした。人生が真っ暗になり、頭の中が真っ白になり、白黒の世界をさまよった。

「日本へ逃げよう」と嫁はんと言うと、きっぱりと反対された。島の嫁はんは強い。山の砂漠と呼ばれるカリフォルニア・ブラッドレーで嫁はんの仕事が見つかるはずが

ない。回りは牧場とブドウ畑。日本人は一人もいないアメリカ人ばかりの山の砂漠の村。

英語がまともにも出来ない喜界島出身の二人が生活できるはずがない。人生のどん底というものは、噛めば噛むほど、苦い味がした。毎日考えることは「私の人生、もう、終わり」。

千ドル(9万円)で買った、おんぼろのキャンピングカーで生活しながら、足の痛みと戦いながら、私はベッドの上で、文章の書き方を勉強した。まともにも言葉も漢字も知らないヌンフリーの大工の書いたエッセイがサンフランシスコの日米タイムスに入賞したのが5年前だった。ウヤフジが入賞させてくれたのです。

人生、アキラメたらアカンのです。病気で倒れても、人生を諦めずに、浅くじゃなく、深く、深く考えつづけたら、いい考えが浮かんでくる。自分にできることが見つかる。それを諦めずに、根気よく続けることです。そうしたら、島のウヤフジが必ずや助けてくれます。ウヤフジはいつでも、どこでもクランチャーの肩に乗って見守ってくれています。

生きる望みが出てきたのはそれからです。喜界島の同級生や妹夫婦が金を出して、私の本「フリムン徳さんの波瀾万丈記」を文芸社から出版してくれた。あれからもう5年、私は「文章を書くのが私の仕事、これしか私にはできない」と思って、毎日文章の書き方を勉強している。このヌンフリーの大工も5年経ったら、たまに作家と言われて、サッカクする時もある。人生、諦めたら、アカンのです。ウヤフジが肩に乗って見守ってくれています。
「私はアメリカから喜界島を有名にしたい」

フリムン徳さん



絶賛発売中!!
「フリムン徳さんの波瀾万丈記」
1,260円(送料・税込み)
ご注文は
「フリムン徳さん応援団」
友田 英助さんまで
Tel./Fax: 042-632-7088
E-mail: e_tomoda@muh.biglobe.ne.jp

ツギハミの話題



全員勝ち越しを決めた喜界出身力士たち 橋本兄弟に注目

両国国技館で行われた大相撲一月場所の千秋楽は、寒空のなか、当日券を求める徹夜組も出て満員御礼。

最近まれにみる盛り上がりを見せた一月場所は、進退をかけた朝青龍の優勝決定戦での劇的勝利で幕を閉じた。

歴史に残る名勝負が繰り広げられるなか、我らが喜界島出身の4力士も負けてはいなかった。全員が勝ち越しを決めたのだ。

喜界出身力士は、高木（たかき・九重部屋）さん、喜乃富士（よしのふじ・中村部屋）さんらがいるが、今回は、小野津出身で経験と番付にまさる橋本兄弟に注目してみたい。

兄の薩喜海澄太郎（さつきうみ・すみたろう）さんは、幕下東五十枚目。身長182・5cm、体重107kg。平成11年1月の初土俵から11年目、28才。幕下に定着した今、幕下上位、そしてそのさらに上を目指して頑張っている。奄美巡業で相撲甚句を披露したほどの芸達者でもある。

弟の喜ノ国健信（よしのくに・けんしん）さんは、三段目西



境川部屋の千秋楽打ち上げパーティーにて（左：喜ノ国、右：薩喜海）

六十三枚目。身長176cm、体重85・5kg。初土俵は平成14年1月、25才。

どちらも境川部屋所属で、力士とすれば小兵。しかし、奄美力士のご多分にもれずなかなかの業師である。

二人の勇姿は、NHKのBS大相撲放送で見ることができ。また、東京だけでなく、福岡、大阪、名古屋でも、本場所は開催されている。皆さんも機会があれば、足を運んで声をかけてみては。

（高橋伸弥さん報告）

喜界島出身力士星取結果

薩喜海（東幕下50） 4勝3敗
喜ノ国（西三段目63） 5勝2敗
高木（東序二段75） 5勝2敗
喜乃富士（西序二段107） 4勝3敗

濱尾章二さん、ウグイスの越冬調査のため来島

絶滅亜種とされていたダイトウグイスを喜界島で発見し、島のPRに一役買った国立科学博物館の濱尾章二さんがこのほど来島し、越冬ウグイスの調査をした。

濱尾さんは喜界島を「越冬するウグイス類の密度が高く、研究するうえで重要な地域」と位置づけており、今回は荒木から手久津久にかけてや滝川林道で主に調査した。

今回は約百羽のウグイスを調査したところ、ダイトウグイスはわずかに6羽だけで、ほとんどがウグイスやカラフトウグイスであった。また、前回調査時に捕獲したダイトウグイスを再捕獲したことから「ダイトウグイスはごく狭い範囲でのみ行動しているのでは」と分析した。

濱尾さんは、2月9日にも調査のため来島するという。



調査のため標識（脚環）を付けられたウグイス

教育委員会のとびら 特別版

ピンチをチャンスに

〜やればできる

喜界島の子どもたち

今年の正月は、『本土で暮らす教え子たちが希望にみちた新年を迎えられただろうか』と、気になって仕方がなかった。

ソニーが一万六千人のリストラ、トヨタ自動車が一兆円の赤字から一五〇〇億円の赤字転落など、世界同時不況の高波が日本に激しく押し寄せている。解雇されて住む家もなく、路頭に迷っている人たちが、派遣村で食事を配給されるという悲惨な光景が報道されていた。

一方、このような不況の嵐が吹き荒れるなか、職場が必要としている『資格』を持つていたために、すんなりと再就職を果たした若者達もいる。『資格』を持つてさえいけば、不況のなかでも仕事をみつけることはそう難しいことではない。

昨年、日商簿記二級や全商簿記一級を取得した喜界高校生が、その資格を活かして、自分の希望する進路へ進むことが

きたという話が新聞に掲載された。国際化の著しい現在、今や『高校や大学を卒業すれば何とかなる』という時代ではなくなっている。

私の知人は、資格を得るために、定年を過ぎてから大学に通い始めた。三十代の教え子は、我が子と机を並べて勉強し、四十近くなって看護師の資格をとり、実際に昨年四月から病院勤務を始めた。

国が認定する資格は五〜六千もあると言われているが、それらの資格を身につけて、『社会が求める人材に育つこと』と、『育てること』が、『健康な体、豊かな心』とあわせて、二十一世紀社会をたくましく生きていく上で大切な要素である。

厳しい時代こそ自分をきたえ、自己価値を高める絶好のチャンスととらえ、今を精一杯頑張っていたらいい。

『イエス、ウイ、キャン』と言って支持率をあげたオバマ大統領ではないが、喜界町教育委員会でも平成十七年度から、子どもたちに『やればできる』とエールを送っている。

（教育長 晴永清道）

さわったらとけたよ!!

雪の降らない喜界島の小学生たちと遊ぶため1月8日の始業式、北海道から「ユキダルマ」がやってきた。

仕掛け人は北海道千歳市に住む安藤富雄さん。以前、自衛隊喜界島通信所に勤務していた際に「島にお世話になったお礼」として、毎年町内の小学校に冷たくて「温かい」プレゼントを続けている。

今回、ユキダルマが遊びに来たのは志戸桶小学校と滝川小学校。正月気分が抜けず、いつもの元気がない子どもたちも、突然の来訪者に興奮気味だった。

初めてのユキダルマの感想を、志戸桶小1年の浜田愛音(はまだあいね)さんと榮暖(さかえのん)さんは「おもしろい顔で、さわったらとけたよ」と元気によく話した。



あまたをなでるととけちゃうよ!

ひろまれ奉仕の環 たかまれ環境意識

①喜界高校

県立喜界高等学校(月精清教校長)は平成20年12月24日、スギラビーチや町グラウンドなど島内5ヶ所の清掃活動をした。

この活動は恒例となっており、今回は生徒146人、教職員18人が参加した。

清掃活動の様子と感想を同校生徒会会長の山元由紀子さん(2年)が報告します。

「島内ボランティア

清掃活動を通して」

喜界高校生徒会長

山元由紀子

去る12月24日に、毎学期末恒例の島内ボランティア清掃活動が行われました。今回は146名の生徒と20名ほどの先生方が参加し、スギラビーチから池治海岸までのゴミ拾いを手分けして行いました。

私たち学生には、定期的に行われるボランティア活動や清掃活動を通して、環境について考える機会が多くあります。ポイ捨てされた多くのゴミを見たり、汚されている場所を見たりすると、「ゴミを捨ててはいけ



グループに分かれて清掃

ない」と強く思います。今回も、沿道や公園、海岸付近などの清掃をしていると、驚くほど多くのゴミを見つけました。おかしや弁当殻、漂流してきたゴミなどもありましたが、なかでも一番目立っていたのはコーヒーやビールの缶、タバコの吸い殻などの、「大人の捨てるゴミ」でした。

青い空と海、緑の大地に囲まれたきれいな喜界島ですが、目をこらして見ると、多くの場所が汚れていることに気づきます。無造作に捨てられたゴミは見ていて気持ちのいいものではありませんし、そのゴミが植物の成長などに悪い影響を与えてもいます。私たちの住むこの

喜界島がずっとキレイであり続けるためにも、今ここで、全ての島民が環境について改めて考えるべきだと思います。たかが一個でも、島民全員が捨てたら8000個以上のゴミが散乱することになります。逆に捨てなければ、その分島の環境は保たれます。ポイ捨ては喜界島の未来に危険を及ぼします。喜界島のみならず、島の未来についてもっとよく考えてみてはどうでしょうか。



大人が捨てたと思われるゴミばかり

②県農村振興技術連盟喜界支部など

県土改連や喜界土地改良区など6団体が加盟する県農村振興技術連盟喜界支部はこのほど、恒例となっている清掃活動を伊実久集落の住民とともに同海岸で行った。

約百人の参加者が3時間かけて、昨年の1・41トンを上回る2・31トンものゴミを収集

した。

今回、海岸線で清掃活動は、不法投棄防止の意識啓発と奄美群島の世界遺産登録に向けての一環を目的として行われた。

ゴミの内訳は、建設資材や古タイヤなどの産業廃棄物や中国語やハンダ文字などの外国からの漂着物など。これら人間の手には負えない粗大ゴミは、建設業者が提供した重機で撤去された。

集まったゴミは、ゴミ袋350袋分で、2トントラック3台と10トンダンプで、町クリーンセンターや粗大ゴミ置き場に搬入された。

作業に参加した県喜界事務所農村整備第一係の職員は「この環境美化活動が、奄美群島の世界自然遺産登録へ向けた住民の機運の醸成につながれば」と話した。



重機も動員しての撤去作業

加藤町政3期目初の町政懇談会

15地区に分かれ

ふるさとの課題について町民と意見交換

主なテーマは「診療所存続問題と防潮堤整備要望」

公民館譲渡についても質問多数

平成20年10月5日に3期目となる加藤啓雄町政スタート後、初となる町政懇談会が11月21日の中里会場を皮切りに、12月2日の滝川会場まで、町内15の会場で開催された。各会場での冒頭あいさつで加藤町長は「国の税収の落ち込みによる交付税減による町財政について、耐用年数が近づいている『フェリーきかい』の生活航路としての維持に関する航路問題について、赤字経営に苦しむ喜界町国民健康保険診療所の赤字幅を減らし存続問題については可能ならば公設民営化が望ましい」など、現在の町政課題について説明した。また、町民からも「診療所の赤字を減らす取り組み、台風災害などを未然に防ぐ防潮堤整備」などの意見や要望が出された。

以下、各会場ごとに出された主な意見・要望などと、それに対する町長による回答を記載します。

○参加者による意見など

●町側による回答



発言する参加者（手久津久会場）

【中里会場】13人参加

○高齢化が進むなか、徳洲会病院、老人ホーム、グループホーム等待機者が多いと聞いているが、最後の介護、老後を安心して島で生活できるための施策を聞きたい。

●徳洲会が社会福祉法人「秀心会」を立ち上げ、塩道の方で有料老人ホームを建設する。在宅介護の方にも力を入れたい。

○診療所については、赤字が膨らむ前に何らかの対応をすべきではないか。

●町民の健康を守るため赤字幅を減少させるよう取組んでいるが、赤字が増えるようであれば町民にも理解して頂いて対応したい。

【湾会場】13人参加

○法務局の存続の見通しについて。

●鹿児島法務局長の話では来年3月で喜界は閉じ名瀬の方に移管する。年間取り扱い件数等を勘案しての閣議決定事項でありいたし方ない。不便がないようにオンラインを結んで手続きができるようになる見通し。法務局の話では月2回奄美の方から出張サービスで来る計画である。

【赤連会場】15人参加

○空港待合室の改修は年度内に実現できるのか。

●発注済みで、工期は来年2月20日となっている。空の玄関口で利用者も多いので業者にも工事を急ぐよう指導していく。

○町が競売で土地を購入したとの話を聞いたが、どういう目的で購入したのか。また共有地が含まれるとのことだが登記に問題はないのか。

●昭和60年に完成した現在のせり市場は手狭のため、高率補助でせり市場を建設する予定です。正式には議会に提案し

審議をしていただいて手続きを進めます。

○登記手続きができた場合町有地になるのか。せり市場の管理はどこがするのか。

●町有地です。町が貸し付けて敷地料を頂くこととなります。

【浦原会場】19人参加

○公民館の無償譲渡について説明いただきたい。

●町の財政が厳しい中、集落公民館以外の町有財産の管理もあり、できれば集落公民館は集落の方で維持管理をしていただきたいというのが町の考えですが、集落の考えを聞きたいということで文書を流しています。

○少子化で生徒数が減ると学校が減るが、学校が少なくなると交付税が減るのか。

●国が学校統廃合を奨励している。交付税が減ることは考えられない。学校統廃合については、皆で議論していただきたい。

【花良治会場】23人参加

○台風被害による石垣の復旧補助はできないか。

●阿伝石垣をどう保存していくかは町全体の問題なので関係課で検討したい。

○畑かん（スプリンクラー）の整備はできないか。

●当時、花良治は水が豊富なので整備は必要ないとのことだった。本線は国の事業、支線は県事業であり、県に働きかけるが地下ダムの実業は難しい。伊実久・坂嶺地区のようには県単事業で溜池等からの水を引くというのは可能ではないか。

【手久津久会場】33人参加

○学校を統廃合し、スクールバスを出した方がよいのではないか。

●行革プロジェクトチームでも検討し、提言が出てきているので教育委員会に申し入れをする。幼稚園については早急に統合を検討する。

○高齢化が進む中で元気に明るく老後を過ごすというのが課題である。野菜作り等で高齢者の生きがいづくりができないか。また、要望であるが、学校統廃合というのは母校が消えるということなので地域住民への説明に十分配慮してほしい。

●急激な高齢化は世界にも類例がないことで、町でも対策を講じているが、地域でのいたわりあい、助け合いが住みやすい地域をつくることだと思ふ。野菜等については地産地消を進め、学校給食・老人ホームまた加工センターに持ちよ

り販売ができないか体制づくりを検討したい。

【伊実久会場】41人参加

○誘殺灯の修理はできないか。誘殺灯の目的は、当時ハリガ

ネムシやアオドウガネ等の被害を減らすために設置したが、所期の目的を達成したことや電気代や修理費が増えてきたことを理由に、糖業振興会・サトウキビ生産対策協議会で今後修理まではしないことを決定してある。

○下水道・浄化槽の宅内配管の自己負担及び浄化槽の維持管理費が高いが、加入率を上げるためには対策が必要ではないか。

●加入率は都市下水道（進捗率50%）で33・3%、農業集落排水44%です。加入率を上げるため個別に相談等を行なっている。環境美化のためにも協力をお願いします。

【塩道会場】25人参加

○各学校の学校評議委員会が機能していないのではないか。

●学校評議委員会は、学校の活動・教育について評価しそれをもとにして学校へ進言して変えていこうとする組織です。ご意見があれば、学校・教育委員会で対応していきたいと思ひます。

○介護保険の中で、支援1、2の方がまだいるのではないか。

●月1回のケア会議（介護施設職員・病院・役場）や毎月の民生委員定例会で連携をとりながら情報収集をしている。また予防事業として、集落で行なう「いきいきサロン」や福祉用具の支援等を行なっている。ご相談があれば地域包括支援センターへお願いします。

【志戸桶会場】31人参加

○農産物加工センターを使用する方からの要望で、3連休のあるときは1日でも開けてもらいたい。

●ローテーションの問題もあるが検討したい。

○図書館を祝日も開けてもらいたい。

●4人体制でローテーションを組んでいるため難しい。民間にしてもらうと可能ではないか。指定管理者制度等を検討したい。

【荒木会場】22人参加

○城久遺跡郡は埋め戻しではなく保存はできないか。

●3,500㎡は町で購入し盛土保存してある。公園化で町民憩いの場にする計画である。最終的には国指定の文化財にしたい。

○健全財政にこだわると住みにくい島になってしまう。若者の働く場の確保を考えてほしい。

●事業を何もしないで健全財政ということではない。若者の雇用対策は企業誘致があれば雇用につながるが、海外離島という立地条件等もあり難しい。行政だけで考える問題ではないが考えていきたい。

【坂嶺会場】27人参加

○町職員の定員管理の適正化と議会議員の定数の削減についてどう考えるか。

●職員の定数については1島1町であるがゆえに持たなければならぬ施設がたくさんある。他の町村よりは少し多くなることはご理解いただきたい。議員定数について、同等の立場である議会に対して町執行部から意見はできないが、町民の要望として意見は出せるのではないか。

○町職員の給与が国家公務員並みは高すぎるのではないか。

●給与については国家公務員並みというのではなく、準じて給与基準があり日本全国ベアスが決まっている。喜界町の給与は国を100とすれば91で、平均年齢で比べても低く抑えられています。

【上嘉鉄会場】27人参加

○議員定数の減はできないか。

●同等の立場である議会に対して町執行部から意見はできないが、町民の要望として意見は出せるのではないか。

○航路問題で鹿兒島・喜界の日発小型船の運航はできないか。今のところ国は鹿兒島・喜界航路は維持するとの意向である。

【滝川会場】21人参加

○縦線の農道舗装をしてほしい。

●畑総に置いて整備は縦線だけでは道路流出のおそれがあるので舗装したが、横線は畑灌水事業でする予定であったが、県の財政が厳しくなってきたおり徐々に整備していくことになっていく。なお、緊急を要する場所は補修していく。

○中央線バスの朝の便は通学路線にもなるので朝1便は大型バスにしてほしい

●中央線が今年度から補助対象外になり、バスの耐用年数もあり経費削減で12名乗りのコミュニティバスに切り替えました。始発については積み残しがあることを想定し、現在乗客数のデータを取っているところだ。

奄美群島振興開発基金 からのお知らせ

■奄美基金は、奄美群島の産業振興を図るため、融資業務・保証業務により事業者の方々への事業資金の円滑な供給に努めています。

★★奄美基金の主な融資制度のご案内★★

貸付対象事業	資金用途	貸付の限度額	貸付期間	貸付利率
農業 (サトウキビ、畜産、果樹、野菜、花き・園芸等)	設備資金	個人 1,000万円 法人 1,500万円	5～15年	1.85%
林業 (樹苗、椎茸、木材生産加工)	設備資金	個人 500万円 法人 800万円	5年	1.70～1.85%
水産業 (漁船取得・改造、装備購入、養殖施設整備、共同利用施設等)	設備資金	個人 2,000万円 法人 4,000万円	5～10年	1.85～2.35%
農業・林業・水産業 (飼料・肥料・種苗購入、買掛金支払等事業に必要な資金)	運転資金	個人・法人 4,800万円	7年	2.50%
農林水産物の流通加工業 (流通・加工に必要な設備及び事業に必要な資金)	設備資金 運転資金	個人・法人 4,800万円	設備 10年 運転 7年	設備 1.85～2.85% 運転 2.50～3.50%
奄美の特産品製造・販売業 (大島紬、黒糖焼酎、黒糖、その他奄美の特産品、地域資源を活用した産業に必要な資金)	設備資金 運転資金	個人・法人 7,000万円	設備 10～15年 運転 7年	設備 1.85～3.05% 運転 2.50～3.50%
観光業 (民宿、ホテル、遊漁船、ダイビング、観光ガイド、土産品製造等)	設備資金 運転資金	個人・法人 4,800万円	設備 10年 運転 7年	設備 1.85～2.85% 運転 2.50～3.50%

※貸付金利は、平成20年12月10日現在のものです。

※貸付期間及び貸付利率は資金用途などにより異なります。

※融資にあたっては所定の審査が必要となります。

■保証業務は、事業者の方々が金融機関から借入を行う際に、奄美基金が信用保証を行うことで円滑な資金供給を支援する制度です。(奄美基金、各金融機関、各商工会等へお問い合わせ下さい。)

■お問い合わせ先

独立行政法人 奄美群島振興開発基金 本部 (担当 業務課)
〒894-0026 奄美市名瀬港町1-5
電話番号 0997-52-4511 FAX 0997-52-4514
HPアドレス <http://www.amami.go.jp> Eメール kikin@amami.go.jp
(Eメールからもご相談を受け付けていますので、ご利用下さい。)

県営コーラル喜界団地空家待ち順位登録について

「空家待ち順位登録」とは、県営住宅入居希望者の抽選により登録順位を決め、空家が発生したときに順番に入居していただく制度です。平成21年度分の受付は、下記のとおりです。希望される方は、次の期間内にお申し込みください。

●申込書の配布・受付

平成21年2月2日(月)から23日(月)までの
午前9時から午後5時

●抽選日

平成21年3月5日(木)

●申込書配布・受付 問い合わせ先

大島支庁喜界事務所総務係 0997-65-2091

- ※1 現在、空き家待ちをされている方につきましては、今回申込みをされない場合は、これまでの登録が無効となりますので、御注意ください。
- ※2 空家待ち順位登録の受付は年1回となりますが、上記の期間以外でも随時申込みを受け付けています。ただし、入居順位は、上記申込みによる抽選で決まった方の後に申込順でつくこととなります。
- ※3 今回の登録順位の期間は、平成22年3月31日までですので、その間に空家ができなければ順番は無効となります。1番の方でも、必ず入居できるわけではありませんので、ご承知おきください。入居できなかった方で、引き続き入居を希望される方は、再度申込みが必要となります。

後期高齢者医療保険 被保険者証の切替について

後期高齢者医療保険では、被保険者証の切替時期は7月となります。
(確定申告の時期ではありません。保険料の納付は納期内をお願いします。)

問合せ先：役場保険福祉課 福原 65-1111 (内線39)

「島の心」を後世に残そう！

喜界町島唄・島ゆみた大会

奄美の文化である「島唄」や「島ゆみた」を後世に伝承するとともに、ふるさとに誇りを持つ青少年を育成するため、1月18日(日)に中央公民館旧館ホールで標記大会を開催いたしました。このことは、大島教育事務所の生きる力を育む「3つの運動」の中の一つである「島唄・島口・美ら島運動」で、郷土の良さを学ぶ運動として設定されており。



小野津小学校児童による方言劇「大きなかぶ」は、演技力が豊かで観る者を引きつけました。

今年で第2回目となる島唄大会には、15名のエントリーがあり、3分間という短い制限時間のなか、自慢ののどを競いました。また、新たに加わった島ゆみた大会には10個人・団体が参加し、ユーモアあふれるゆみたや演技力に観客は大いに湧きました。

なお、結果については次のとおりです。

【第2回島唄大会】

〈大会出場未経験者〉

- 小学生低学年の部 奨励賞 徳 姫佳
- 小学生高学年の部 最優秀賞 原田あずさ

- 優秀賞 秋田 京香
- 奨励賞 築 彩香

〈大会出場経験者〉

- 少年の部(小・中学生) 最優秀賞 上田 昂の

- 優秀賞 川畑 奈々
- 奨励賞 河上 恵美

【第1回島ゆみた大会】

小学生の部

- 最優秀賞 小野津小学校
- 優秀賞 坂嶺小学校
- 奨励賞 荒木小学校
- 中学生の部 奨励賞 小林佳奈子
- 中山 愛

重要文化財を守ろう！

第55回文化財防火デー防火訓練(荒木集落保食神社)

文化財防火デーは、昭和24年1月26日に法隆寺金堂壁画が焼損したのを教訓に、全国的に文化財防火運動を展開し、国民的文化財保護思想の高揚を図る目的に実施しています。

当日は、重要文化財が保管してある保食神社から出火したとの想定で、火事をいち早く消し止め、文化財を火災から守るという内容で大島地区消防組合喜界分署と喜界町消防団(荒木分団)とが連携して行いました。

その他、上原慶三郎会長(町文化財保護審議会)による講話があり、参加者に文化財の重要性について訴えました。



大島地区消防組合喜界分署員による消火実演指導

喜界町体育館 利用者の皆さんへ！

1月5日から3月25日までの約3ヶ月間、町体育館屋根及び耐震補強工事に伴い、利用を中止させて頂いております。利用者の方々には大変ご迷惑をお掛けしますが、御理解と御協力をお願いいたします。

講演会・親子スポーツ教室

文部科学省委託事業の「体力向上の基礎を培うための幼児期における実践活動の在り方に関する調査研究」を実践しております。一月十八日(日)はその取組として、講演会と親子スポーツ教室を湾小学校体育館で実施しました。

当日は、文部科学省スポーツ・青少年局生涯学習課の坂元譲次課長をはじめ東京大学小林寛道名誉教授など六名の来賓及び講演会・親子スポーツ教室へ約九十名の参加者がありました。

一、講演会
東京大学の小林寛道名誉教授と鹿児島大学の丸山敦夫教授の講演でした。

小林先生の演題は、「子どもと運動・運動は脳を育てる」でした。脳の発達には乳幼児期が最も大事で、様々な運動の組み合わせが脳を刺激し、活性化すると話されました。

また、丸山先生の演題は、「幼児の技能を高める『身体像』と



小林寛道東京大学名誉教授の講演

は」でした。子どもの運動能力を引き出すためには、先生が子どもに気付くように教えたり、先生が実際に動きを見せたりすることが大切であると話されました。

二、吉留先生の親子スポーツ教室
講師として、鹿児島純心女子短期大学非常勤講師の吉留早木子先生を招きました。

「しのび足」「バスにのって」などの音楽を使って、約一時間楽しく体を動かしました。

また、吉留先生が「きかいやよい島」をリズムダンス風に振付をし、初披露しました。この日は、湾幼稚園の川畑さおり教諭がその場で三味線を弾き歌いながら、伴奏をして、みんなで踊りました。

参加した園児の一人黒田健君は、「喜界やよい島のダンスは難しい動きもあったけど楽しかった。お父さんと一緒にいっぱい体を動かしたことも嬉しかった。」と話していました。



**ためになるメタボ講座
その五「平成二〇年度から始まる特定健診」**

昨年末に、各集落公民館で説明会をさせて頂きましたが、これまで四〇歳以上のすべての町民を対象に行なわれてきた「基本健診」は、次年度から「メタボリックシンドロームに着目した検査・質問(問診)」を行う特定健診」として新たにスタートします。

この健診の特徴は、
一、病気になる前の「一次予防」に重点がおかれます

ゆえに現在、高血圧症や糖尿病等で医療機関において継続治療している方は、病院からの検査結果をご本人の承諾の上、健診を受けたことにより、特定健診を受けたことになりません。

二、町ではなく医療保険者が加入者を対象に実施します
医療保険者から受診対象の方に「受診券」が発行されます。役場から通知があるのは国保の方々です。

事業所や官公庁で働いている方は、「事業所(職場)健診」が優先されます。

三、「健診項目」が変わります
加わるもの：腹囲測定、LDLコレステロール

除かれるもの：尿潜血、総コレステロール

四、「健診結果」に基づき、特定保健指導の対象者が選ばれます

- ① 情報提供
- ② 動機づけ支援
- ③ 積極的支援

の3つに分けられます。その後、個々に応じた生活改善を一緒に取り組んでいく計画です。

なお、健診と同時実施されている「腹部超音波検査」「各種がん健診」などは、今まで通り希望者は受診することができます。

子どもの予防接種週間

3月1日〜7日は子どもの予防接種週間です。昨年の春から夏にかけて麻疹が流行して、騒がれていたのはまだ記憶に新しい所だと思えます。昨年の流行では、特に15歳以上の患者さんが多いことが特徴でした。10代後半の予防接種率が低い事も要因のひとつと考えられています。麻疹の予防接種は、平成18年4月から風しんと混合ワクチンによる2回接種となっています。(1歳〜2歳の間に1回、小学校入学前1年間に1回)平成20年4月からは、平成24年までの5年間計画で、さらに

- ★ 中学1年生
- ★ 高校3年生

への追加接種が始まります。これまでに麻疹風しんの予防接種を1回しか受けていないお子さん、1回も受けていないお子さんはぜひこの機会

に接種を受けてください。今年の4月以降に問診票を送る予定です。詳しくは保健センターすこやか電話番号65-3522までお問い合わせください。

**インフルエンザ
流行注意報発令中**

鹿児島県内では、1月22日にインフルエンザ流行注意報が発令されました。インフルエンザは患者の咳などで空気中にちらばったウイルスを吸い込むことで感染します。

●咳やくしゃみがある方はマスクを使用する事 ●咳やくしゃみの際はティッシュなどで口と鼻をおさえる。そのティッシュはすぐゴミ箱へ！
その後手を洗う、などの「咳エチケット」を守りましょう！

「家族ぐるみ・地域ぐるみで正しい生活リズムの笑顔輝く喜界つ子を育てよう!!」

鹿児島県は全国でもむし歯の多い県です。その中でも喜界島は3歳児のむし歯ランキング49市町村中40位(平成18年度)という多さです。そんな現状をうけ、様々な団体の方々がお口の健康を守る為できることを取り組んでいます。
みんなで目指せ8020!!



3歳児健診でむし歯ゼロだったよ!



栄 美空斗くん



藤原 凜ちゃん



金子 恭和くん



尾崎 遙ちゃん



香月 花ちゃん



山元 千波ちゃん



新田 悠仁くん



諏訪原 悠太くん



大塚 勇士くん

定額給付金を悪用した「振り込め詐欺」に注意!!

政府与党で決定された「定額給付金」は、現段階で町として、町民の方へ給付を行う状況にありません。また、このことに関して個別に連絡もいたしていません。

もし、町や国を名乗る電話や郵便物があつた場合は、役場総務課か警察までご連絡ください。「定額給付金」を給付する際は、役場から防災無線や区長便などで町民の皆さんへご連絡いたします。

注意する事項

- ① 給付の事務手続きは町が行いますので、国や県からの連絡は一切ありません。
- ② 町や国・県などが銀行 ATM の操作をお願いすることはありません。
- ③ 銀行 ATM を自分で操作して、他人からお金を振り込んでもらうことは絶対にできません。
- ④ 町や国・県などが「定額給付金」の給付のために、手数料などの振り込みを求めることは、絶対にありません。
- ⑤ 現時点（国会未通過）で、町や国・県が住民の個人情報や銀行口座番号を問い合わせることは、絶対にありません。

労働保険のお知らせ

事業主の
皆さんへ

平成 21 年度から年度更新の申告時期が変わります。

平成 20 年度まで（4/1～5/20）→平成 21 年度から（6/1～7/10）
○平成 21 年度から、年度更新の手続きは 6 月 1 日から 7 月 10 日までの間に行ってくださいことになります。なお、年度更新申告書は 5 月末に送付する予定です。しかし、労働保険料等の算定方法は変わりません（4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までに支払う賃金総額に保険料を乗じて得た額となります）。

問合せ 鹿兒島労働局労働保険徴収室 適用係 電話 099-223-8276



弁護士相談日
毎月第 2・第 4 木曜日（午後 1 時～午後 4 時）
（予約制・要面談・無料）
※専門の相談員が相談に応じます。
※損害保険一般の相談も受け付けます。

相談日
月曜日～金曜日
（午前 9 時～正午、午後 1 時～午後 5 時） 祝日を
除く

鹿兒島自動車保険相談センター
Tel 099-252-3466（直通）

社団法人日本損害保険協会では自動車保険請求相談センターを全国に設置し、交通事故でお困りの方々の自賠責保険や任意自動車保険の請求について、一切無料で相談に応じています。県内では、次の相談センターで相談を受け付けています。

交通事故でお困り、困ったひとのご相談

相談
無料

家電リサイクル料金の改正について

●料金の改正

家電リサイクル法（正式名称「特定家庭用機器再商品化法」）は、家庭や事業所から排出された使用済み家電製品の部品や材料をリサイクルして、ごみの減量と資源の有効活用を進めるための法律です。

このたび、島内において排出される家電廃棄物を鹿児島県の指定引取場所まで輸送するために海上輸送に要する費用の一部に相当する額の補助金を交付する事業が、2月1日より平成22年1月31日までの一年間適用されます。

別表のとおり、七区分に分かれており、四月には二品目増える予定です。負担する料金は、「販売店などの収集・運搬料金」+「メーカーのリサイクル料金」です。収集・運搬料金は電気商業組合加盟店であれば、別紙料金表のとおりですがリサイクル料金は製造業者等により細かく異なりますので、排出の時にお店に確認してください。

この期間に不要になったものや倉庫で眠っている家電製品を整理しましょう。

●加盟店

ひろでんき、吉川電器、ツル電機商会、喜界文化、大成無線、クボデン、早町放送社、サンヨー社、清水電気、ニシムタ喜界店の十店舗になります。

●料金表

全国電機商業組合連合会 喜界支部

品名	区分	リサイクル料	助成額	リサイクル料(助成後)
冷蔵庫 冷凍庫	401ℓ以上	11,400	2,540	8,900
	400ℓ以下	9,200	2,540	6,700
	170ℓ以下	8,100	2,540	5,650
テレビ	16型以上	5,700	1,180	4,590
	15型以下	4,700	1,180	3,540
洗濯機	一律	6,500	2,020	4,490
エアコン	一律	6,300	1,770	4,530

※リサイクル料には、海上輸送費、陸送費、収集手数料等全て含む

●処理方法

原則として、製品を購入したまたは買い替える小売店に引き取りを依頼してください。

●不法投棄の禁止

家電等の不法投棄は、周りの迷惑になり、環境にも悪い影響を与えます。また、不法投棄は廃棄物処理法により固く禁じられており、違反した場合は重い罰則を受けることになります。

家電製品は大切に使い、使い終わったら小売業者などに適切に引き渡しましょう。

※みだりに廃棄物を捨てると「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」違反より五年以下の懲役か一、〇〇〇万円以下の罰金、場合によっては、その両方が課せられます。

問い合わせ先

住民課生活環境係
電話 65・1111 (内線33)



民生委員・児童委員活動たより No.3



新年始めの一月定例会を1月7日、老人福祉センターで開催しました。

来賓として直島秀守収入役、庵地県喜界事務所長に出席いただきました。会は起立しての民生委員児童委員信条朗読ではじまり、岩田進会長あいさつ、来賓あいさつがあり、つづいて、新年を迎え会員が気持ちを新たに活動することを祈念して、大喜慶義委員の音頭でお茶による乾杯もありました。

行政からの報告は、基井宏信保健福祉課長から町行事予定、国の福祉関係補正予算、鳥インフルエンザ対策の報告がありました。社会福祉協議会からは、歳末助け合い募金についての報告がありました。

次に会員の識見向上を目的に、町保健センター「すこやか」の介護支援員、孝田荘屋係長から「高齢者虐待問題等について」と題した講演をいただきました。

まず、虐待を発見したとき悩む介護者や高齢者と対する時の上手な対応について、まず対応する前に「援助が必要な人から自分はどう思われているか」、「よい援助をしなければという力みがないか」、「自分の価値観、判断基準は受け取る側の心に伝わるか」、「共感・同情が多情になってないか」を考慮しながら、実際に対応するときは「そばにいてあげるという気持ちで」、「援助をしたいという事を本人が気づくまで待つ」、「本人が何を望んでいるかを知る」など、急がず相手の心をほぐしながら時間をかけて対応することが大切であるとの内容でした。

他に、家族による介護について、始める前に介護講習や認知症研修などを受けて対応方法への理解、さらに介護を始めたら、身内、隣人、民生委員、ケアマネージャーなどの地域ネットワークと連携することが大切であるとのことでした。

研修後の会員による自由討議では、現在の福祉事業に対する疑問点の意見などについて話し合われました。

以上、一月定例会の報告をして、民生委員・児童委員たよりといたします。

シマの入り江と潮だまり

花良治編

花良治集落は海側には大きく入り込んだ泊を持ち、背後には百之台の絶壁がそびえ、その断層にはいくつかの湧水がある。

集落の成り立ちの泊の西側に人が住み着き、山から湧水を引いて田芋(ウム)を作り、漁り(イザリ)をしていたという。その後、人口の増加にともない宅地や田畑が東側へ広がり、その田畑の向こう側に数名が住み着いて蒲生集落が誕生したという。

花良治を語るうえで外せないのが「花良治ミカン」である。「花良治蜜柑由来記」(郡山元正著)によれば、花良治村の石盛という人物が鹿児島に向かう際、暴風によって孤島にたどり着いた。その島で出会った大変甘いミカンの苗木を二本持ち帰ったのが花良治ミカンの始まりだといふ。

花良治ミカンの特徴として、①タネがない、②大変香ばしい、③青くても美味、④外皮がうすく日持ちがする、などである。しかし、郡山氏が石盛が漂着したとされるトカラ列島の黒島から取り寄せたミカンは、いづれも前記の特徴がなく、他の島にも花良治ミカンの特徴を持つミカンはないことから、同氏は「突然変異による優良種」と結論づ

けた。

島に数ある在来ミカンはほとんど学名を持たないが、花良治ミカンは『シトラスケラジ』という可愛らしい学名を持つ。国際的に記録された、名実共にシマの誇る素晴らしい財産といえる。

余談であるが、編者は以前に徳之島で、喜界島から取り寄せた苗木から育てたという花良治ミカンを食べた。しかし、その形状、香り、食感ともに花良治ミカンといえるものではなかった。また、喜界島内でも花良治以外の集落のものは味が落ちるといふ。同じ気候風土で育てられたにも関わらず風味に違いがでることが、何とも不思議である。
(※竹内譲著「喜界島の民俗」を一部参考)

言い伝えなどについて

ナガノ(ダツ)が釣れるポイント。入り江の対岸(⑧、⑩、⑪)ではなぜかあまり釣れないといふ。

ウエアタリウミー(写真⑤)

この地名は定かではない。森山徳一郎さんによれば、宮本

商店から浦原よりのウエアタリという地名から、このように呼ばれることもあるといふ。今では、オオフチと呼ばれることが多い。

アガレーウミー(写真⑥)

⑤と同様に定かではない。アガレーとは「東」という意味があるので、⑤に対しての東側の海であることからこのように呼ばれることもあるといふ。

ガンジ(写真⑦)

郡山克彦さんによれば、以前は、

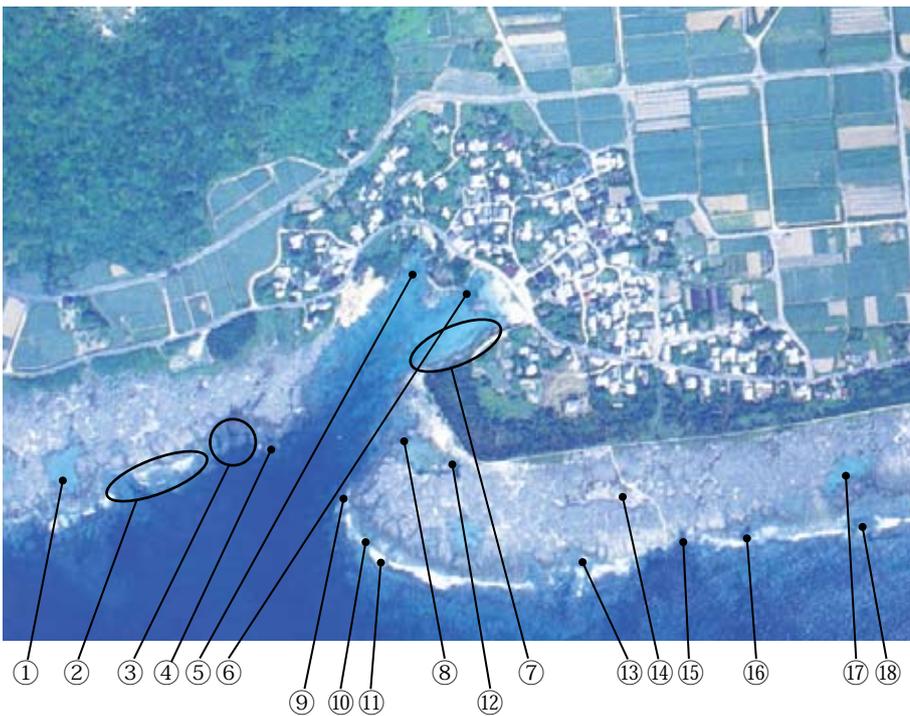
花良治には大島紬の泥染め工場があり、古仁屋から染料となるテーチギ(シヤリンバイ)を運ぶ貨物船が停泊していたといふ。

トウンニャー(写真⑫)

入り江の奥が深くなっており、子どもたちが飛び込んで遊ぶ場所であった。飛び込み台となる岩は、高さの違う男鼻・女鼻がある。水質もサンゴも大変美しかったといふ。

ワイーシ(写真⑬)

イスズミ(シトウ)が釣れる



- | | |
|-------------------|----------|
| ①ウフムリ | ⑩ハミングビー |
| ②タッチャミ | ⑪フスクンバー |
| ③イラバーヤトウ | ⑫トウンニャー |
| ④ハナリイシ | ⑬ワイーシ |
| ⑤ウエアタリウミー? (オオフチ) | ⑭イタジチ |
| ⑥アガレーウミー? | ⑮トウドウルチ |
| ⑦ガンジ | ⑯スミヤチガマー |
| ⑧ヤクゲーハナー | ⑰ウフニジリ |
| ⑨イワジョーヤトウ | ⑱ウフンジュ |

ポイントであり、夜釣りのポイントでもある。
ウフニジリ(写真⑰)
ウフンジュ(写真⑱)
以前、満潮時は⑰は⑱を通して外海とつながっていたが、潮が引くと⑰は独立したフムリ(潮だまり)となっていた。しかし現在では、⑰と⑱は海中でつながっているのみである。(主に吉田新一さんから聞き取り)

喜界歌壇

いまさらに思い高ぶる事もなし
願う平穩吾が晩年の

林 蓮香

見はるかす銀世界をばよぎり行
く寒念仏の声哀調を帯ぶ

北島 シナ

み神社に祈願をかけて往きし友
還らぬままの心知り度し

有村 道子

南天のつづらなる実の朱さえて
素枯れし庭の冬の陽に映ゆ

平尾 チヨ

老いし我も幸せ求め今日を生き
明日に願いを託して休む

屋良ミノ子

戦無き今を至福と思ふ身の明
るく呆けぬ老い先願ふ

美代 イシ

乱れしる世を生きんとす若きら
よ願わくば人の道学ぶべし

郡 市子

不況世相テレビで見てもは胸痛む
人に幸あれ善き世を願ふ

弥島 幸子

「願い」なる兼題を詠みなすみし
に「翼をください」のメロディー

武田 幸子

病み臥せる友の思いの安かれと
願いをこめて鶏飯を炊く

嶺倉 祝子

戸籍の窓

こんにちは

赤ちゃん

氏名 保護者 住所

坂元 勇聖 篤雄 佐手久

碓山 貴翔 次文 荒木

登山 雄三 政幸 池久

尾崎 葵 政幸 池久

いつまでも
お幸せに

氏名 住所

川島 涼代 奄美市

ごめい福を
お祈りします

住川 矢野 巖名 年齢

滝野 三郎 88

小野 次郎 81

志戸 久子 80

社協だより

香典返し(敬称略)

坂川 嶺田 利吉	滝川 三浦 好江	上原 林正 正五	浦原 福島 和子	志戸 大石 忠助	阿木 壽 妙子	荒木 政元 彰	埼玉県在住 (大朝戸出身)	赤連 悦信	大阪在住 (城久出身)	志戸 行正
----------	----------	----------	----------	----------	---------	---------	------------------	-------	----------------	-------

世帯数	3,739 戸 (- 12)
人口	8,237 人 (- 8)
男	3,931 人 (0)
女	4,306 人 (- 8)

話そうシマのことは
語り継ごう喜界の文化
2月18日は
「シマユミタの日」です。

2009年7月22日
一生に一度の皆既日食まで
あと **163** 日
(2009年2月10日現在)



税で創る、あかるい未来
2月末は
固定資産税 4期分
の納期限です。
納期内に必ず納めましょう。

申告を
お忘れなく

平成20年分の所得税及び町県民
税の申告の受付は、平成21年2月
16日から3月16日までです。
また、2月19日と20日(午前中)
には役場研修室にて大島税務署の
申告相談が予定されていますので
ご利用下さい。
お問い合わせは役場税務課まで
TEL 65・1111 (内線42)

平成20年12月号4ページ写真に「今家
英政氏」とあるのは「吉田忠弘氏」の誤り
です。

編集後記

この冬もインフルエンザが
猛威をふるっているが、幸か
不幸かインフルエンザではな
いがカゼをこじらせた。気管
支炎も併発したため、十日間
ほど仕事にならなかった。

「カゼは万病の元」というか
ら馬鹿にはできないが、たか
がカゼを引いたくらいで不安
になり、普段の当たり前のよ
うな健康こそが何よりの「幸
せ」だと実感する。

ひるがえって、島に住む今
の日常という幸せも身近すぎ
るためか、ごく当たり前のこ
ととらえてはいまいか。
逆に、遠く島を離れて暮ら
すシマツチュこそ、島の存在
を身近に感じているようだ。

今月号から連載が始まった
「フリムン徳さんのアメリカ便
り」。アメリカから島を有名に
したいという徳さんが、これ
からどんなエッセーを読ませ
てくれるか非常に楽しみだ。

また、先月号の牧岡奈美さ
んの記事に写真を提供してく
れた埼玉県の高橋伸弥さんは、
郷土出身力士のレポートをし
てくれた。本人は島出身では
ないが、奥さんが坂嶺出身と
のこと。新聞や地元FMラジ
オで島のPRをしてしてくれて
いる。まさにシマツチュ。

勝手に「広報きかい東京駐
在員」に任命したい。(植村)



蜜を吸うメジロ

1-2
月

島に咲く花

カンヒザクラ (寒緋桜)

メンハナ公園にて。喜界ライオンズクラブが植栽したもの。緋寒桜（ヒカンザクラ）とも呼ばれるが、彼岸桜（ヒガンザクラ）と混同しないように、最近ではカンヒザクラと呼ばれるようになっている。ちなみに近い種のツバキカンザクラ（椿寒桜）の別名は、映画『青い山脈』でおなじみの「雪割桜」。理由は、冬の終わり頃にツボミに積もった雪を割って咲くため。もし、カンヒザクラにも別名を付けるなら、「冬払桜」「春待桜」とでも名付けようか。

撮影日の時点では「五分咲き」であるが、この号が発行される頃は満開と予想される。メンハナ公園で花見はいかが。(満開時期は年によって違います) 花ことばは「善行」。



ツワブキ (石路)

キク科。名前の由来は「葉にツヤがあるフキ」から。艶路とも書く。通常50cmほどであるが、写真のものは1m程もあった。花が咲き終わると、同じキク科のタンポポのように「わたぼうし」ができる。



食用として有名であるが、シマではあまり食されない。奄美大島や徳之島では大人気で、すぐに採られてしまうため、あまり見受けられない。「ハゲー、キャーノンゲンハ、ナンデコンナオイシイノニ、タベンノカイヤー」などと言いながら、軽トラ一杯のツワブキをシマから採っていく大島や徳之島の人も一人や二人ではない。商売でもするのだろうか。

花ことばは「謙譲」「困難に傷つけられない」。

アブラナ (油菜、菜種)

湾のとある牧草地にて。菜の花として有名。二年生植物。古くから食用として、または菜種油を採るために栽培されてきた。現在、菜種油や観賞用として植えられているのはセイヨウアブラナという外来種が主である。



蜜を吸うミツバチ



指宿の「菜の花マラソン」は、畑一面の菜の花と開聞岳や池田湖などを見ながらのんびりと走るレースで、市民一体となって沿道でランナーをもてなすことでも有名であり、毎年1万5千人以上の参加者を集め、地域興しのお手本として全国的に注目されている。

花ことばは「快活な愛」「競争」「小さな幸せ」。